

## Communication

1 unit (compulsory)

Masao Nakano · PART-TIME LECTURER

**Target)** 工学技術者に要求される情報活用能力, コミュニケーション能力の基礎を身につける.

**Outline)** 専門領域に亘る「情報を上手く入手し整理する仕方」について, 講師の経験を交えて説明し, 実習を通して習熟を図る. また, 人との話し合いにおいて, 成功の大きな要素である「笑顔で自分から情報を発信することの大切さ」を身に付けるとともに, コミュニケーション能力の基礎の習得を図る.

**Keyword)** 情報活用能力, コミュニケーション, 笑顔

**Fundamental Lecture)** “Introduction to Digital Computers and Programming Practice”(1.0)

**Requirement)** 特になし.

**Notice)** 笑顔へのいざない, インターネットの使用

**Goal)**

1. 科学文献・情報検索技術の修得 (授業計画 5-8).
2. コミュニケーション能力の基礎を身に付ける (授業計画 1-4).

**Schedule)**

1. コミュニケーションの基本
2. コミュニケーションの実際
3. 笑いの効能, 体験
4. 自分スタイルの確立/EQ 診断他
5. 科学技術文献検索の仕方/STN, J-Dream, 特許, インターネットなど
6. 検索実習/科学文献および特許検索など
7. 情報の整理活用術/Excel, カードなど
8. レポート
9. 試験

**Evaluation Criteria)** 出席率 80%以上で, 到達目標 2 項目が各々 60%以上達成されている場合をもって合格とする. 達成度は発表 (30%), レポート (40%), 試験 (30%) で評価する.

**Jabee Criteria)** 成績評価と同じ.

**Relation to Goal)** 本学科教育目標 (A), (B), (C), (D) に対応する.

**Textbook)** 教材はその都度提供する.

**Reference)**

- ◇ 林 香都恵 「ビジネス・コミュニケーション」 生産性出版 2006

- ◇ 野口吉昭編, HR インスティテュート著 「コミュニケーションのノウハウ・ドゥハウ」 PHP 研究所 2005
- ◇ JDreamII 検索ガイド 科学技術振興機構 (JST) 最新版
- ◇ STNEasy 検索ガイド 最新版

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215896>

**Student)** Able to be taken by only specified class(es)

**Contact)**

⇒ 生物事務室(M棟703)

**Note)**

- ◇ ゲストスピーカー (情報検索サービス機関講師) を招聘する場合もあり得る.
- ◇ 授業を受ける際には, 1 時間の授業時間毎に 1 時間の予習と 1 時間の復習をしたうえで授業を受けることが, 授業の理解と単位取得のために必要である.